

# 若者のファストファッション意識に関する調査

井垣 歩 (22011017ai@tama.ac.jp)

## 1. 問題と目的

ファストファッションとは、流行を取り入れつつ低価格に抑えた衣料品を大量生産し、短いサイクルで販売するブランドやその業態を指す。若者にとって「安く、早く、おしゃれ」であるファストファッションは歓迎されているように見受けられるが、批判も少なくない。資源の無駄使い、衣料の焼却処理による環境汚染への懸念が社会問題となっているからだ。このように賛否両論あるもののファストファッションは、話題性のある現象として日本を席卷している。

本研究では大枝・佐藤・高岡 (2013) の研究を参考にし、若者のファストファッションに対するイメージを明らかにするとともに生活意識とファストファッションに対する意識の関係を捉えることを目的に大学生を対象に調査を実施した。

## 2. 方法

**調査対象者** 多摩大学に在籍する学生 52 名のうち、回答を取ることができなかった 1 名を除いた 51 名。

**調査日時** 2023 年 7 月～9 月

**質問構成** 回答者のファッションとファストファッションに関する考え方、ファストファッションに対するイメージ、「ファストファッションに対する意識と生活意識」についての大きく 3 つについて回答を求めた。今回はファストファッションに対する意識と生活意識についての結果を取り上げる。ファストファッションの商品を購入する時に重視することについて、20 項目に対して 5 段階で回答してもらった。最後に日常生活について生活の中で重視していることを、20 項目に対して 5 段階で回答してもらった。ファストファッションと生活意識について 6 つの項目に分けた。

## 3. 結果

ファストファッションに対する意識と生活意識について、まず「着こなし工夫」と「生活エンジョイ」志向との間に弱い有意な正の相関があった ( $r=.331$ )。着こなしの工夫をする傾向にある人は、生活を楽しんでいる傾向にあることが言える。次に、「着こなしの工夫」と「環境配慮」志向との間に中程度の有意な正の相関があった ( $r=.514$ )。着こなしの工夫をする傾向にある人は、環境に気を使っている傾向にある。また、「話題性」と「環境配慮」志向との間に有意な負の相関があった ( $r=-.360$ )。話題性を重視する傾向にある人は、環境配慮に欠ける傾向がある。

## 4. 考察

相関分析の結果、生活を楽しみ、環境に配慮している人は着こなしの工夫をし、ファッションを楽しんでいることが伺えた。一方でファッションにおいて話題性を重視する人は環境への配慮が欠ける傾向にある。以上のことより若者の生活を楽しむ考え方がファストファッションの流行を促していると思われるが、一方若者たちもそれなりにコーディネートを工夫するなどして利用しており、ファストファッションの流行を後押ししている。また、昨今話題として取り上げられている衣服の環境問題に関しては、全体的に若者は身近な問題としてとらえていない傾向にある。気楽で安価で親しみやすいファッションのひとつとしてファストファッションを楽しんでいることがうかがえた。

## 5. 引用文献

大枝近子・佐藤悦子・高岡朋子 (2013) 若者のファッション意識に関する調査 日本家政学誌 vol.64 NO.10 645～653

表 1.ファストファッションと生活意識の相関分析表

	M	SD	2	3	4	5	6
1. 話題性	2.55	1.00	0.268 +	-0.152 ns	-0.360 *	0.092 ns	-0.133 ns
2. 品質不信	2.27	1.00	-	0.167 ns	0.079 ns	-0.065 ns	-0.093 ns
3. 着こなしの工夫	3.48	1.80	-	-	0.514 **	0.331 *	0.085 ns
4. 環境配慮志向	3.10	2.22	-	-	-	0.271 +	0.202 ns
5. 生活エンジョイ志向	2.88	1.00	-	-	-	-	0.120 ns
6. 堅実志向	2.65	1.00	-	-	-	-	-

\*\* $p<.10$ , \* $p<.05$ , + $p<..05$

N=51